

(別紙1)

実績報告書

事業の名称	高齢者支援活動事業（いきいき生活向上）		
団体名	よりあい処 西ヶ丘		
総事業費	265,118 円	助成金交付額	200,000 円

【事業の概要】

実施期間	(開始日) 平成30年 4月 1日 ~ (完了日) 平成31年 2月28日
実施内容 ＊「実施回数」 「実施場所」 「対象者」 「実施内容」 「実施体制」 「実施方法」等を 具体的に書いてく ださい。	年代を超えた共生型地域を目指して 「実地回数」：24回、「実施場所」：主に西ヶ丘自治会館、 「対象者」：子どもから高齢者まで 「実施内容」：下記詳細は別紙 <ul style="list-style-type: none"> ● 学校との交流 コミュニティスクールなどを利用して 互いに交流を図る。→事業の参加以外に、宇部商の生徒さんに イメージキャラクター作成を依頼し完成、交流ができた。 ● 自治会館を使って 子供達の 遊び場、勉強の場の充実を図る。「避暑地」「蕎麦打ち教室」などに 数人が参加 ● 世代を超え参加出来る、イベントの開催、収穫祭、芋煮会など→世代を超えて楽しめる ニュースポーツなど ● 共生型地域に関する 研修会を開催し 住民の知識、意識の向上を図る→「あいサポーター研修」、「認知症サポート養成講座」、長谷先生の「共生社会について」の講座 ● SOS 模擬訓練などの活動にも、世代を超えて参加してもらう →宇部商：先生を含め15名、厚南中学：先生を含め5名参加 「実施体制」：よりあい処西ヶ丘を中心に 市（文化・スポーツ振興課、厚南支援チーム）の協力や、後援、市社協などの協力を得ながら実施 「実施方法」：広報、西宇部校区便りに掲載、回覧を作成、学校へ参加依頼などして 広く参加を呼びかけ実施する。
参加者数等	参加者数 延べ 579人、スタッフ 35 人
事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 顔の見える関係になった結果 互いに 協力し、見守りし合える形になり 地域力がアップした。災害時にも役立つと考えられる ・ 認知症だけでなく、障害者を含め 対応法を学び 地域で 助け合うことができるようになった。 ・ 対象地域を 西ヶ丘自治会から 校区、市内へと広げることができた ・ 高齢者の 活動の場が広がり 生きがいの場となる。 ・ 若い人たちの意識も高くなる。→親世代参加が少なく、効果は限定的

※事業実施状況が確認できる写真を添付してください。